

「(仮称) 第二中九州大仁田山風力発電事業」の環境影響評価方法書に  
対する環境の保全の見地からの意見

- 1 事業実施想定区域の全域は、国連食糧農業機関から世界農業遺産に認定された「高千穂郷・椎葉山地域」に含まれており、同地域の認定に当たっては、地域の伝統・文化と結びついた棚田やモザイク林など、自然景観の維持・継承が高い評価を受けた経緯がある。本事業の環境影響評価を行う際は、この点に十分配慮し、特に、「景観」及び「人と自然との触れ合いの活動の場」に関しては、適切に調査地点を選定して予測・評価を行い、事業による影響の回避・低減を図ること。
- 2 今後、現地調査を経て、環境影響評価準備書を作成する際は、各種データや根拠とした数値等について具体的に記載するとともに、地域住民が記載内容を十分に理解できるよう、簡潔かつ分かりやすい表現を用いた説明に努めること。